

新ごみ処理施設整備に係る 環境影響評価

現況調査結果の概要（H24 冬季、早春季）

〇はじめに

今治市が計画する新ごみ処理施設整備事業に関し、事業の実施が環境に及ぼす影響を事前に予測するため、平成24年1月1日から平成24年12月31日まで現況調査を実施しています。

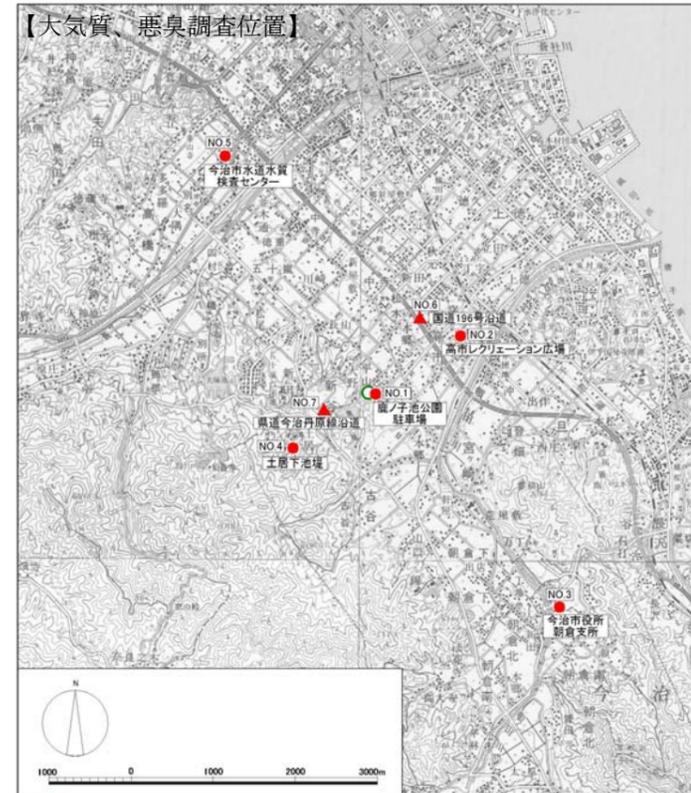
本資料は、平成24年1月～3月に行った冬季及び早春季調査の概要についてとりまとめたものです。

1. 調査対象項目および調査位置

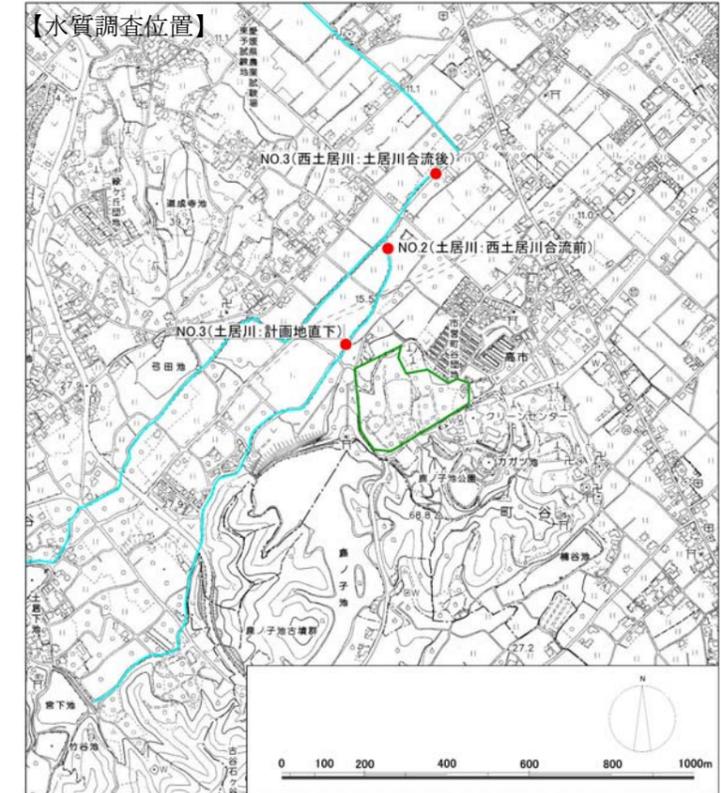
「今治市新ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価方法書」に基づき、大気質、騒音、振動、悪臭、水質、地下水、土壌、動物、植物、生態系、景観、廃棄物等、温室効果ガス等の13項目のうち、温室効果ガス等を除く12項目で現況調査を実施します。

冬季調査では、大気質、悪臭、水質について、下表に示す内容で現況調査を実施しました。

また、対象事業実施区域の周辺で、動物（冬季、早春季）、植物（早春季）、景観（冬季）等の現況調査を実施しました。



- ：対象事業実施区域
- ：大気質調査、悪臭調査（対象事業実施区域近傍及びその周辺）
- ▲：大気質調査（主要道路の沿道）



- ：対象事業実施区域
- ：水質調査（河川）

2. 調査結果の概要

【大気質】

二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質の期間平均値、日平均値の最高値、1時間値の最高値は表1～3に示すとおりであり、いずれも環境基準を下回っていました。

また、ダイオキシン類、塩化水素については、期間平均値、日平均値の最高値は表4～表5に示すとおりであり、それぞれ環境基準（0.6 pg-TEQ/m³）、目標環境濃度（0.02ppm）を下回っていました。



大気質の測定状況

表1 二酸化硫黄の測定結果

No.	測定地点名	冬季	春季	夏季	秋季	各季の 平均値	単位：ppm	
							日平均値 の最高値	1時間値 の最高値
1	鹿ノ子池公園駐車場	0.002				0.002	0.003	0.006
2	高市レクリエーション広場	0.003				0.003	0.004	0.009
3	今治市役所朝倉支所	0.002				0.002	0.003	0.005
4	土居下池堤	0.004				0.004	0.005	0.009
5	今治市水道水質検査センター	0.003				0.003	0.005	0.012

注1) □：今回の測定における期間平均値を示している（冬季：平成24年2月21日～27日）。

注2) 環境基準：「1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。」

表2 二酸化窒素の測定結果

単位：ppm

No.	測定地点名	冬季	春季	夏季	秋季	各季の 平均値	日平均値 の最高値	1時間値 の最高値
1	鹿ノ子池公園駐車場	0.010				0.010	0.015	0.024
2	高市レクリエーション広場	0.011				0.011	0.018	0.028
3	今治市役所朝倉支所	0.009				0.009	0.015	0.025
4	土居下池堤	0.009				0.009	0.015	0.025
5	今治市水道水質検査センター	0.012				0.012	0.017	0.032
6	国道196号沿道	0.018				0.018	0.028	0.042
7	県道今治丹原線沿道	0.011				0.011	0.016	0.025

注1) □: 今回の測定における期間平均値を示している(冬季:平成24年2月21日~27日)。
注2) 環境基準:「1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。」

表3 浮遊粒子状物質の測定結果

単位：mg/m³

No.	測定地点名	冬季	春季	夏季	秋季	各季の 平均値	日平均値 の最高値	1時間値 の最高値
1	鹿ノ子池公園駐車場	0.025				0.025	0.037	0.055
2	高市レクリエーション広場	0.024				0.024	0.036	0.055
3	今治市役所朝倉支所	0.023				0.023	0.034	0.053
4	土居下池堤	0.025				0.025	0.037	0.051
5	今治市水道水質検査センター	0.023				0.023	0.035	0.062
6	国道196号沿道	0.025				0.025	0.037	0.050
7	県道今治丹原線沿道	0.025				0.025	0.036	0.054

注1) □: 今回の測定における期間平均値を示している(冬季:平成24年2月21日~27日)。
注2) 環境基準:「1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。」

表4 ダイオキシン類の測定結果

単位：pg-TEQ/m³

No.	測定地点名	冬季	春季	夏季	秋季	各季の 平均値	各季の 最高値
1	鹿ノ子池公園駐車場	0.018				0.018	0.018
2	高市レクリエーション広場	0.028				0.028	0.028
3	今治市役所朝倉支所	0.0088				0.0088	0.0088
4	土居下池堤	0.020				0.020	0.020
5	今治市水道水質検査センター	0.026				0.026	0.026

注1) □: 今回の測定における期間平均値を示している(冬季:平成24年2月21日~27日)。
注2) 環境基準:「年平均値が0.6pg-TEQ/m³以下であること。」

表5 塩化水素の測定結果

単位：ppm

No.	測定地点名	冬季	春季	夏季	秋季	各季の 平均値	日平均値 の最高値
1	鹿ノ子池公園駐車場	0.001				0.001	0.003
2	高市レクリエーション広場	0.001				0.001	<0.001
3	今治市役所朝倉支所	0.001				0.001	0.001
4	土居下池堤	0.001				0.001	0.001
5	今治市水道水質検査センター	0.001				0.001	0.003

注1) □: 今回の測定における期間平均値を示している(冬季:平成24年2月21日~27日)。なお、平均値の算出では、<0.001は0.001として算出している。
注2)「大気汚染防止法に基づく窒素酸化物の排出基準の改定等について」(昭和52年、環大規第136号)では、日本産業衛生学会「許容限度に関する委員会勧告」に示された労働環境濃度(上限値5ppm)を参考として、塩化水素の目標環境濃度を0.02ppmとしている。

【粉じん等(降下ばいじん)】

調査した7地点について、降下ばいじん量は1.25~1.71 t /km²/月であり、指標値(10 t /km²/月)を下回っていました。

【悪臭】

調査した5地点について、臭気指数はいずれも10未満でした。また、アンモニアや硫化水素等の不快なにおいの原因となり、生活環境を損なうおそれのある物質である特定悪臭物質(22物質)については、いずれも、悪臭防止法に基づく規制基準値を下回っていました。



悪臭の調査状況

【水質】

対象事業実施区域下流の土居川(2地点)及び西土居川(1地点)での調査の結果、生活環境項目、健康項目及びダイオキシン類とも、環境基準値を下回っていました。



採水状況

【動物、植物】

動物の重要な種として、下表に示すような種が対象事業実施区域及びその周辺で確認されました。なお、対象事業実施区域近傍においてオオタカなどの猛禽類の繁殖の兆候は認められませんでした。

確認場所	分類	重要種
対象事業実施区域及びその周辺	鳥類	ミサゴ、オオタカ、ツミ、ハイタカ、ハヤブサ
	両生類	アカハライモリ、ニホンアカガエル
	猛禽類	ミサゴ、オオタカ、ツミ、ハイタカ、ハヤブサ
西土居川	魚類	ドジョウ
鹿ノ子池	底生動物	ヒラマキミズマイマイ、ヒラマキガイモドキ、ヒメミズカマキリ

植物については、重要種は確認されませんでした。